



人気モデル ステージ彩る

「PUNYUS」のファッションショー

観客の熱気 最高潮

ファッション、ビューティー、ミュージック、コメディの4分野を融合させたエンタテイメントショー「ちゅらイイGIRLS U.P.ステージ」が22日、宜野湾トロピカルビーチのステージで開催された。観客がビーチ全体を埋めるほどの人気ぶり。華やかな有名モデルや人気芸人の登場に会場は沸き返った。



今井華(右)やダレノガレ明美(左)らカリスマモデルが特設ランウェイを闊歩

オープニングは、渡辺直美プロデュースのブランド「PUNYUS」のファッションショー。秋元梢、今井華、ダレノガレ明美ら入場した。今井華は「沖縄は



黒髪に前髪ぱつんの秋元梢は、春らしいショートパンツで美脚を披露。最新トレンドファッションを身にまとったモデルの競演に、会場は熱気に包まれた



今日が初めてだけど、ノリがイケイケすぎて最高」と満面の笑顔だった。

日本の「KAWAII」を世界へ発信するASOBISYSTEMとのコラボステージ「OKINAWA KAWAII ステージ」もあり、「スピンズ」や沖縄のかりゆしウェアなど、テイストの違ったファッションもモデルたちは華麗に着こなした。

レディー・ガガのヘアメイクも担当したYUYA NARA氏によるヘア・シヨウや、「ダウンタウンDX」のエンディングテーマを歌う近藤喜子、大阪を拠点に活動するアイドルグループ「NMB48」、Madeline 福岡アイドル「Rev. from DV

NMB48 成長実感 映画上映後に挨拶



内田監督(右端)は「昨年以上に、みなさんの声援が温かくうれしかった。第3部をぜひやりたい」とコメント

「NMB48げいにん! THE MOVIE」リターンズ 卒業! お笑い青春ガールズ!! 新たな旅立ち」が22日、宜野湾市の沖縄コンベンションセンターのシアター1で上映され、終了後には出演したNMB

シーサーだより

▼きょうの14時10分からコンベンションセンター・シアター1で上映される「ジャッカスノックン」のアメリカ横断中道中」だが、これがメッチャおもしろい! ジャッカス」とは元々MTVの番組名で、製作総指揮ジョニー・ノックスウィル、総監督スライク・ジョーンズ。メインキャストの出入りはあったが基本的に8人組。米国では国民的人気のお笑い集団だ。かつてのドリフターズや欽ちゃんファミリーに近い▼今回の劇場版第4弾は、全米で「ゼロ・クラビティ」を抜いて初登場1位をゲットした。82歳のスケベジジイ(43歳のノックスウィルが驚異のメイク技術で演じている)と8歳の孫に由来する米大陸横断ロードムービー。ドキュメンタリータッチなのだが、そこには用意周到にドッキリが仕掛けられておバカ丸出しで意気軒昂! これまで日本ではマイチ知られなかったのは、タブーなしのシモネタ&暴力&悪ふざけが過ぎて、最大級のR指定(年齢制限)が掛けられていたから。だが今回は心境の変化か、ファミリー層が楽しめるように極めてマイルドに作られ、日本でのR指定も比較的緩やかなPG12におさまった▼お笑いが若者、コドモの成長に必要なマイルドなのは万国共通だ。この春、日本の中学生たちが一人でも堂々とジャッカス・サ・ムービーを鑑賞できるのは、慶賀にたえない。(麻生香太郎)



では、矢倉楓子が「笑わないうと指示があると、笑いたくなくなってしまった」、小等原菜由が「みんなツッコミは苦手だった」と苦勞を語りながらも、山本彩は「テレビ版ではツッコミが不発だったけれど、映画ではいい感じになった」と振り返った。山田菜々は「前作では恥ずかしさがあつたけれど、今回は役に入り込めるようになった」と笑顔で語るなど、それぞれ成長ぶりを実感していた。

映画「ゲテなんてクソくらえ」

ドイツの学校問題描く

大金を埋めた場所に体育館が建てられていたこと... 何と代理教師として学校へ潜入した前科者がヤンキーな生徒たちとワイルド



「ゲテなんてクソくらえ」©2013 RAIT PACK FILMPRODUKTION / CONSORTANTIN FILM



主演のエリアス・ムバレク、製作のレナ・シューマン、監督のボラ・ダグテキン(右から)

踏み込んだ映画は今までなかったですし、そこにボラの映画作家としてのコアがあるとも思います... 僕らはただ、今までの映画作りとは違うものを提唱していきたいんだ。



Sky's The Limitに栄冠 Xファクター 沖縄JAPAN

22日夕方、沖縄市のミュージックタウン音市場で人気音楽番組「Xファクター 沖縄JAPAN」ファイナルラウンドの公開放送が実施された。

「あさひるばん」 きょう桜坂で上映

国民的人気漫画「釣りバカ日誌」の原作者、やまさき十三の映画初監督作「あさひるばん」が23日15時半より桜坂劇場で上映さ



やまさき十三(釣りバカ日誌原作者)映画初監督

本作はもとも、知人のプロデューサーから沖縄国際映画祭に出品するために短編を作らないか、と声をかけられたことがきっかけで始まった企画という。

「短編というところで、ある意味気楽にできるのかなど思っていたんです。でも、ひょんなことからそれが劇場用の長編を撮ることになりました。結構、堅辛だったかなと思います」とやまさきは笑う。

劇中には、國村隼演じる主人公あさが、恩師役の西田敏行と釣り対決を行う、

いわば「釣りバカ日誌」を彷彿とさせるシーンがある。「西田さんは相当忙しい方なので、出ていただけの心配でした。ですから、出ていただけでホッとしました。この映画では釣りバカ日誌とは違い、(西田の)相手役の三國連太郎さんの手役をお願いしました。

高平氏ら作品の魅力語る 高平哲郎氏がセレクトした名作コメディの特集上映「日本のコメディ・世界のコメディ」では、高平氏と山本晋也監督、なだぎ武が、作品の魅力語り尽くす。



桜坂劇場に斉藤由貴登場 22日、桜坂劇場ホールAでは「雪の断章―情熱―」の上映が行われ、かつてこの映画で主演デビューした斉藤由貴がスペシャルゲストとして登場。



世界の記者が見た沖縄国際映画祭 台湾、鄭偉柏さん エバー・チェン 「新浪台湾」舞

松本は「警備対象外」 「デイリーよしもと」好評配信中

AEON MALL 沖縄ライカム 広告. 内容: 施設概要、アクセス、所在地、開業予定 (2015年春).